

Q&A

Q. 教員採用選考試験関係の情報はどのようにしたら手に入れることができますか？

A. 宮城県教育庁教職員課のホームページをご覧ください。最新の情報をご覧いただけます。
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)

Q. 出願方法について教えてください！

A. 出願は原則として電子申請で行います。宮城県教育庁教職員課のホームページから「電子申請・届出メニュー」画面に入り出願することができます。また、インターネットに接続できないなど、電子申請が困難な場合は「書面による申請」も可能です。宮城県教育庁教職員課にご連絡ください。

Q. 宮城県外で試験を受けられるのですか？

A. 第1次選考は、東京会場で受験することができます。受験可能な校種・教科については選考要項で確認してください。

Q. 勤務地は希望できるのですか？

A. 小中学校の受験者には、宮城県と仙台市のいずれを希望するかについて第2次選考時に調査します。ただし、全体を考慮しての勤務地決定となることから採用時に希望どおりになるとは限りません。

Q. 採用後の研修について教えてください！

A. 学校生活での不安解消の他、実践的指導力や使命感を養うために、初任者に対して研修を行っています。その他、5年、10年経験者や教科・領域等の研修などスキルアップのための様々な研修があります。

Q. 福利厚生はどうなっていますか？

A. 採用と同時に公立学校共済組合員となり、健康保険・年金制度はもちろん、次のような制度を利用できます。
給付制度：病気、災害、結婚、出産時の給付金が受けられます。
貸付制度：一般、教育、住宅、結婚等の貸付が受けられます。
検診制度：人間ドッグや各種がん検診を受診できます。
その他、健康づくりのためのセミナーなど各種事業があります。

Q. 採用後の給与について教えてください！

区分	小・中学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院卒	221,900円	221,900円
大学卒	199,700円	199,700円
短大卒	177,200円	174,700円

（平成26年4月1日現在）

前歴加算：民間企業における職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算があります。

諸手当：教職調整額、義務教育等教員特別手当、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当などがそれぞれの要件により支給されます。

Q. 講師として働きたいのですが、どのようにすればよろしいですか？

A. 教員免許状があれば、所有する免許状に応じて小・中・高・特別支援学校の講師として働くことができます。常勤講師は、欠員、産前・産後休暇、育児休業、病気休暇などにより補充が必要となったとき、その代替者として勤務します。非常勤講師は、特定の時間のみ勤務するもので、時間給が支給されます。講師の任用希望は、電子申請または書面で随時受け付けておりますので、宮城県教職員課または仙台市教職員課までお問い合わせください。

問い合わせ先

宮城県教育委員会 教育庁教職員課
〒980-8423仙台市青葉区本町三丁目8番1号
Tel(022)-211-3637
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

仙台市教育委員会 教育局学校教育部教職員課
〒980-0811仙台市青葉区一番町4-1-25東二番丁スクエア
Tel(022)-214-8873
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/>

平成28年度
宮城県・仙台市
教員募集

宮城県教育委員会・仙台市教育委員会
公立学校教員募集案内

あなたの一歩で、未来が輝く。

みやぎの教育

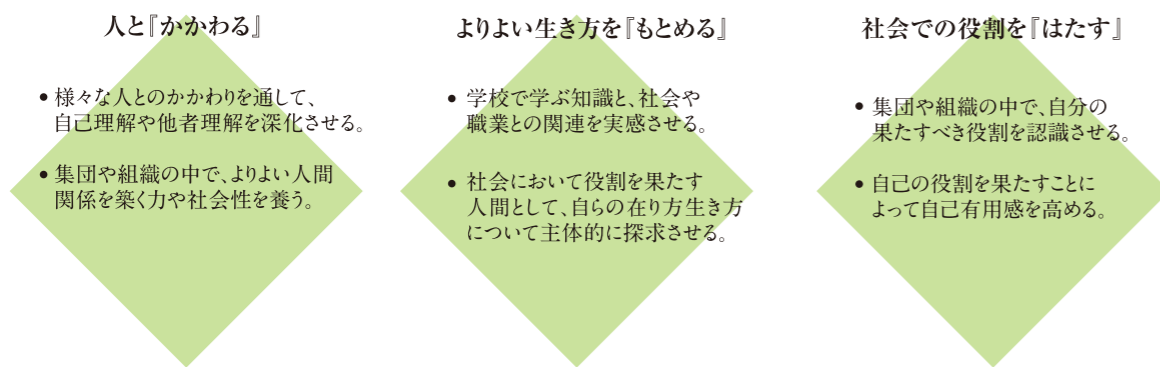
宮城県・仙台市では、「志教育」、「仙台自分づくり教育」に取り組んでいます。

宮城県 ～ みやぎの「志教育」～

みやぎの「志教育」とは

小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかがわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育です。（みやぎの「志教育」は、平成22年3月に策定された「宮城県教育振興基本計画」において、重点的に取り組むべき施策の一つとして掲げられています。）

「志教育」3つの視点（この3つの視点に基づき、各学校で計画を立案し実践しています。）



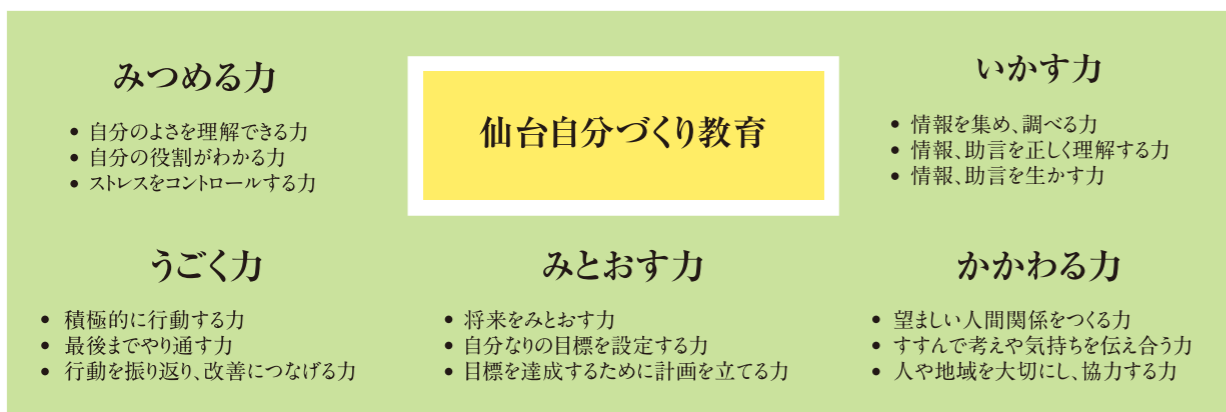
仙台市 ～ 「仙台自分づくり教育」～

「仙台自分づくり教育」とは

児童生徒が自ら学ぶ意欲をもち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育くむことを目的とした教育です。（仙台市教育委員会では、この「仙台自分づくり教育」を最重要事項として教育施策に位置づけています。）

「仙台自分づくり教育」で育くむ5つの力

（各学校では、この5つの力を育くむことを念頭に置きながら、発達段階に応じた教育活動を実践しています。）



過去の選考結果

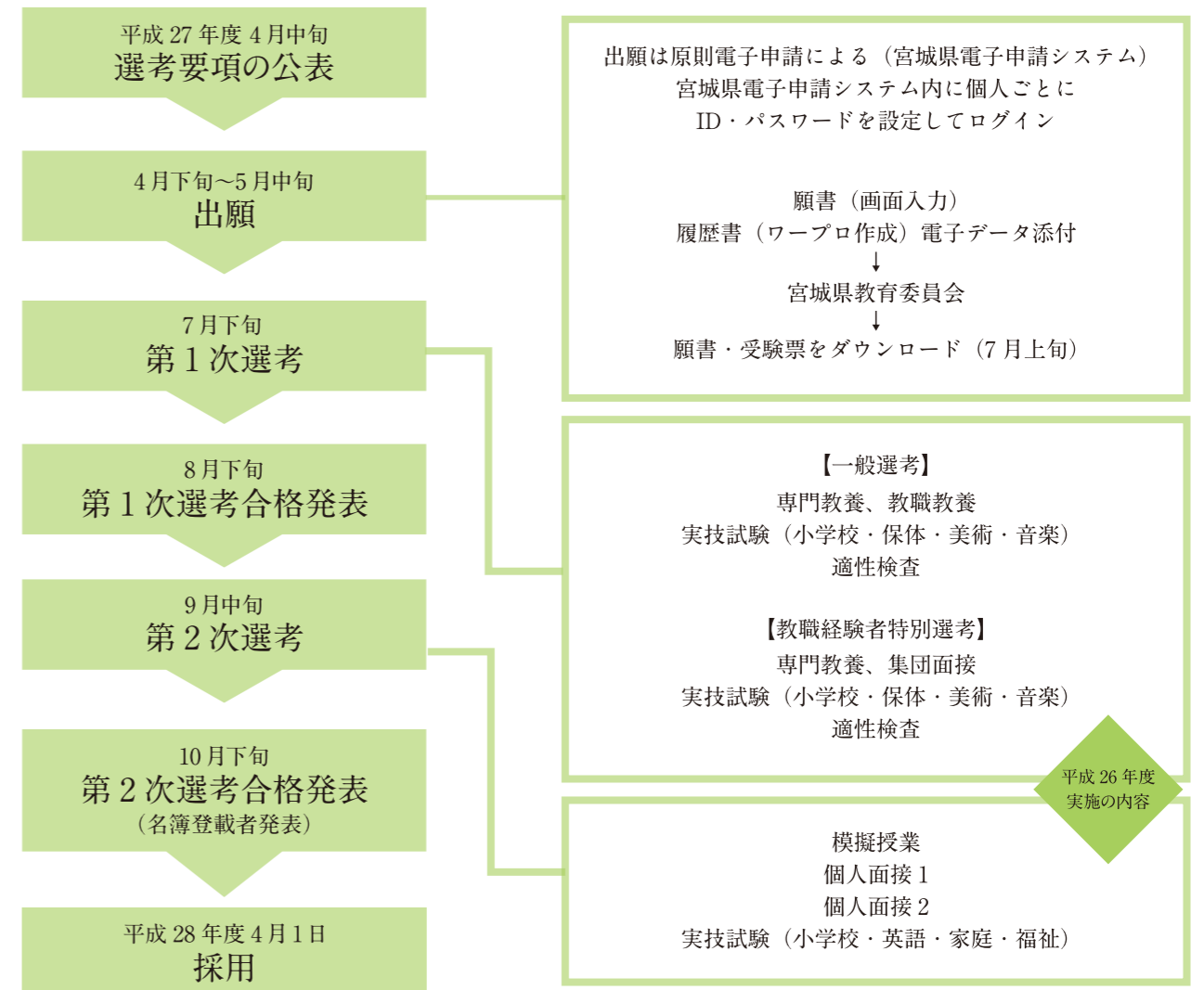
平成27年度選考（平成26年度実施）の結果

	小学校	中学校							中学校・高等学校				
		国語	社会	数学	理科	技術	英語	計	保体	音楽	美術	家庭	計
1次受験者	1,041	108	266	181	109	33	193	890	352	80	58	49	539
2次受験者	535	43	45	70	58	11	76	303	63	20	12	15	110
名簿登載者	306	27	21	33	34	3	46	164	37	10	4	8	59

	高等学校													養護教諭	栄養教 A	栄養教 B	合計
	国語	公民	地歴	数学	理科	農業	水産	工業	商業	英語	看護	福祉	計				
1次受験者	81	58	115	123	121	23	0	50	42	92	2	22	729	249	7	37	3,492
2次受験者	30	7	22	27	45	17	0	31	16	32	2	12	241	47	7	10	1,253
名簿登載者	13	5	7	18	12	6	0	9	4	15	2	4	95	25	6	2	657

平成28年度 宮城県・仙台市 公立学校教員採用候補者選考

出願から採用までのスケジュール



ともにみやぎの教育の復興を

子どもたちの未来のために

あの東日本大震災から、約4年。全国から寄せられた多くの支援を受け、宮城県・仙台市は少しずつ復興しつつあります。ふるさとみやぎの復興のためには、次代を担う子どもたちの教育がなによりも重要です。あなたも、宮城県・仙台市の教員として、ともに子どもたちの未来をはぐくみませんか。

復興に向けた取組

「学ぶ」



鈴木圭
気仙沼高等学校 教諭

ある先輩の先生から「しんどいと思うときには勉強したらいいよ。自分が見えてくるから。」という言葉を読みました。その後の生活の中で何か壁にぶつかるとこの言葉を思い出します。千年に一回の規模ともいわれる震災から三年半が経過し、前任校でも現任校でも少しずつ以前の日常を取り戻しつつあるように感じています。ですが直接表現することなく、生徒一人一人の胸の中には様々な思いがあり、そのことを生徒同士がお互いに思いやる雰囲気のあることを同様に感じています。以前NHKのアナウンサーの方が「復興はマラソンの長い列のようだ。全速力で走り出している人もいれば、まだスタート地点にすら立てない人がいる」とおっしゃっていました。この地の教壇に立つ者として自分にできることは何かを問い続ける日々は続きますが、生徒に寄り添い、生徒や先生方、地域の方々と共に学び続けることで、より明確に自分自身を、そしてわが故郷を見つめていきたいと考えています。



「今、自分ができることを」



須藤雄一郎
南三陸町立志津川小学校 教諭

心に大きな傷を負った子どもたちに、教師としての自分ができること。繰り返し考えても、いつも結論は出ないのですが、そんな時、「教師としての原点」に立ち返ってみようとしています。子どもたちが「分かった」「できた」の喜びを得られるような授業づくり。互いのよさや違いを認められる学級づくり。失敗することも少なくありませんが、その都度、改善点を探り、よりよい手立てを模索してきました。また、震災当初、寝食を共にした同僚から学んだことは、「子どものため」という熱意や使命感、そして、「意地」でした。被災地であるが故に「実態に応じた特別なこと」を感じたり、時には求められたり、今後も思い悩むことが多いのだと思います。そんな中でも、授業づくりに努め、一緒に遊び、話を受け止め、時には厳しく叱り、大いに褒め、その子のよさをどんどん伸ばしていく…。そんなやりがいのもてる教師の仕事に、これからも皆さんと一緒に「子どもたちのために」働いてみたいと思っています。



「輝く明日に向かって」



吉田尚美
石巻市立青葉中学校 教諭

季節の花が美しく咲く花壇の脇を校舎に向かって歩いていくと、気持ちのよい挨拶と子どもたちの笑顔に迎われます。学校の日常を彩る穏やかな光景。しかし、一歩校地内を出ると、そこには震災の大きな爪痕が。校舎に被害は及びませんでした。壊滅的な損害を被った学区。多くの人が、住んでいた地区を追われ、現在も3割の生徒が学区外通学をしています。学区内に住んでいる家庭でも、その9割が自宅の再建を余儀なくされました。そんな状況の中、この学校を活性化させ、地域に力を与えていくことが我々教師の務めだと強く感じます。小学校との交流、ボランティア活動、地域と連携した防災訓練など、新たな事業を展開し、学校、地域、家庭がスクラムを組んで一歩一歩着実に前へと歩みを進めているところです。「この環境でもこんなにできる!」と限界に挑戦し、子どもたちや学校の取組を、外に発信すること。それが、子どもたちの自信となり、次なる目標への輝き力となります。また、子どもたちの笑顔と輝きは、地域の明日への活力につながるはず。そんな子どもたちの笑顔と輝きを、最前線で見守ることができるのは我々教師の特権といえます。今、目標に向かって突き進んでいるみなさん、輝く明日を担う子どもたちと一緒に育ててみませんか。みなさんと出会う日を心待ちにしています。



「瞳輝く未来へ」



大宮知佳
仙台市立中野小学校 教諭

「この瞳を、どうしてにごしてよいものか!」『二十四の瞳』の大石先生が初任でかわいい子どもたちに出会った時の気持ちとして書かれた言葉です。私はこれまで、この言葉を胸に留めて、子どもたちと向き合おうとしてきました。仙台市において、東日本大震災での津波による被災校である中野小学校。震災後に転任した私に、子どもたちは自分たちの経験を次々と話してくれました。その姿から、共に乗り越えてきたたくましさ、ふるさとへの強い思いを感じました。閉校を見据え、校舎跡地や蒲生干潟へ足を運び、生まれ育ったふるさとの自然の素晴らしさや人のあたたかさを再発見する活動に取り組む子どもたち。その瞳は生き生きと、どこまでも澄んでいます。教師は、子どもたちに寄り添いながら心を震わせることのできる仕事だと感じます。毎日が感動やハプニングで溢れています。出会う子どもたち一人一人から、かけがえのないものを贈ってもらうことで、自分自身一歩ずつ成長することができます。ふるさとを愛し、これからの未来を担う子どもたちの瞳を輝かせていけるよう、一緒に働くことを楽しみにしています。



先輩からのメッセージ

新人教員として夢、展望

「学ぶことの楽しさを伝えたい」



永沢祐介
石巻市立飯野川第一小学校 教諭

大学を卒業して4年間、一般企業に勤めていた頃に東日本大震災が発生し、漠然と自分に何かできることはないかと考えていました。その時、震災にあっても学校で一生懸命勉強する子どもたちやその子どもたちのために奮闘する先生方の様子をニュースで見て、小学生のときの恩師のことが思い浮かびました。その恩師は、アイデアに溢れる授業で学ぶことの楽しさを教えてくれただけでなく、日々の生活で人との関わり合いの大切さも教えてくれました。そのことを思い出して、私は夢であった教師の道に進むことを決意しました。小学校の教員となり、教えたいことや児童への想いをうまく伝えられずに落ち込むこともありますが、学校生活の中で生き生きと活動する子どもたちの笑顔や同じ職場で働く先輩の先生方に支えられて充実した日々を過ごしています。子どもたちが夢中になれる授業を心掛けて、学ぶことの楽しさを伝えることができるように私自身学び続けていきたいです。ぜひ、一緒にがんばりましょう。



「Happiness」



千葉志行
仙台市立中田中学校 教諭

人間はだれしも幸福を求めています。私もその一人です。私が幸せを感じる時、それは誰かが幸せを感じているときです。「人を幸せにしたい」という思いが私の教師を目指すきっかけでした。勉強や生活など、様々なことを生徒とともに学び、生徒のその後の人生を彩る幸せなものにする。その使命を担っているのだ、という強い気持ちで、日々の仕事に取り組んでいます。教職に就いてから日も浅く、勉強の毎日ですが、授業に一生懸命取り組む生徒の姿や、「わかった!」「できた!」と笑顔になる生徒を見るたび、やりがいを感じます。また、先輩の先生方や生徒、保護者や地域の方々に支えられていることを日々実感するとともに、生徒を幸せにするためには自分自身の教師としての力を伸ばさなくてはならないという責任を感じ、日々精進しています。採用試験の勉強は決して試験のための勉強ではありません。その取組は必ず合格後に生きます。みやぎの子どもたちのために、ともに頑張りましょう!



「教員を目指すにあたり」



茂木安徳
一迫商業高等学校 教諭

私を教職へと導いたきっかけは高校時代の多くの先生方との出会いでした。その先生方は経済的に恵まれていなかった私に大学に進む道と教師という職業を何度も何度も勧めて下さいました。実現への道は平坦ではありませんでしたが9年間の講師経験を経て悲願だった教員となりました。そして、今、半年が経とうとしています。現在は先輩の先生方の手厚いご指導のおかげで充実した毎日を送っています。しかし、自分自身の力不足で本当に生徒一人一人の可能性を広げられる指導ができていますか?という自問自答の日々です。この職のすばらしさは、生徒の成長と笑顔から、力をもらえるということにつきます。今後も生徒のことを大切にしながら私の目標である日本一の商業教員を目指し、何よりも、魅力ある生き方ができる人間になれるように生徒と一緒に成長していきたいと思っています。今の新鮮な気持ちを忘れず謙虚に何事も前向きに取り組んでいきたいです。みなさん!採用試験に向けた努力は必ず活きます。そして、必ず道は開けます。無限の可能性に満ちたみやぎの子どもたちのために一緒に汗をかきましょう。



「ともに」



遠藤文音
石巻西高等学校 養護教諭

「保健室の先生は、優しくおもしろくて明るくて話をしっかりと聞いてくれる先生だよ。」高校生の頃、友人がそう話していました。私が保健室を利用することはほとんどありませんでしたが、保健室という場や養護教諭という存在を必要とする生徒がいて、そこでさまざまな事に向き合う力を取り戻して、また頑張ることができていると感じていました。保健室は、生徒を「受け入れるだけの場」だと思われがちです。しかし、保健室は受け入れて教室に戻るまでの間に、生徒が「自分自身を見つめる場」であると感じています。けがの応急手当であってもさまざまな相談であっても、その原因や解決策について「生徒とともに」考えながら、次に活かすためのふり返りを行うことができる場だと思います。採用試験に合格するまで、たくさん悩み、不安を感じることもあったのですが、どんな経験も養護教諭として生徒と関わるために必要な経験であったと胸を張って言えます。みなさんも「ともに」頑張りましょう。応援しています。



教員採用選考の概要

平成26年度に実施した選考内容の概要です。
平成27年度実施の選考内容については、平成27年4月に公表される選考要項で確認してください。

(1)採用校種・教科等

小学校教諭、中学校教諭(国語、社会、数学、理科、技術、英語)、中・高教諭(保体、音楽、美術、家庭)、
高校教諭(国語、地歴、公民、数学、理科、農業、水産、工業、商業、英語、看護、福祉)、養護教諭、栄養教諭

(2)選考内容

①一般選考

【第1次選考】	筆記試験1	専門教養-各校種、各教科科目に関する専門分野
	筆記試験2	教職教養-教員として必要な教養に関する分野(*)
	実技試験	小学校-水泳、ボール運動 保体-水泳、陸上競技、器械運動、ダンス、球技(バレー・バスケットから選択)、 武道(柔道・剣道から選択) 音楽-ピアノ、歌唱、および楽器または歌唱 美術-絵画表現
	適性検査	

* 所定の要件に該当する者については、筆記試験2において、「教職教養」を「小論文」に替えて出願することができます。
(所定の要件の例:出願時に宮城県内で講師等の職に就いており、この3年間に、常勤講師歴(又は非常勤講師歴)が12月以上ある者。)

【第2次選考】	模擬授業	授業前に示された課題内容(教科書等の教材の数ページを指定する等)により指導案(一単位時間分の略案A4判1枚程度)を作成し(作成時間50分程度)、それをもとに模擬授業(授業時間12分程度)を行う。授業後に試験官からの質疑に答える。
	個人面接1	民間人を含む複数の面接委員による面接を行う。
	個人面接2	複数の面接委員による面接を行う。
	実技試験	小学校-ピアノ、マット運動 英語-示された資料の朗読及び英語による面接 家庭-被服製作、調理実習 福祉-介護実習

②教職経験者特別選考(所定の出願要件に該当する者*)

* 所定の出願要件(平成26年度実施の場合)
平成26年度実施の一般選考の「出願資格」に加え、出願時に宮城県内で講師等の職に就いており、この5年間の間に常勤講師歴が通算24月以上ある者。または、出願時に学校教育法第1条に定められた学校の教員として継続して24月以上就いている者。(ただし、栄養教諭Aの受験者は対象外。)

【第1次選考】	筆記試験1	一般選考に同じ
	集団面接	複数名一組による集団面接
	実技試験	一般選考に同じ
	適性検査	

【第2次選考】 一般選考に同じ

③障害者特別選考(所定の出願要件に該当する者*)

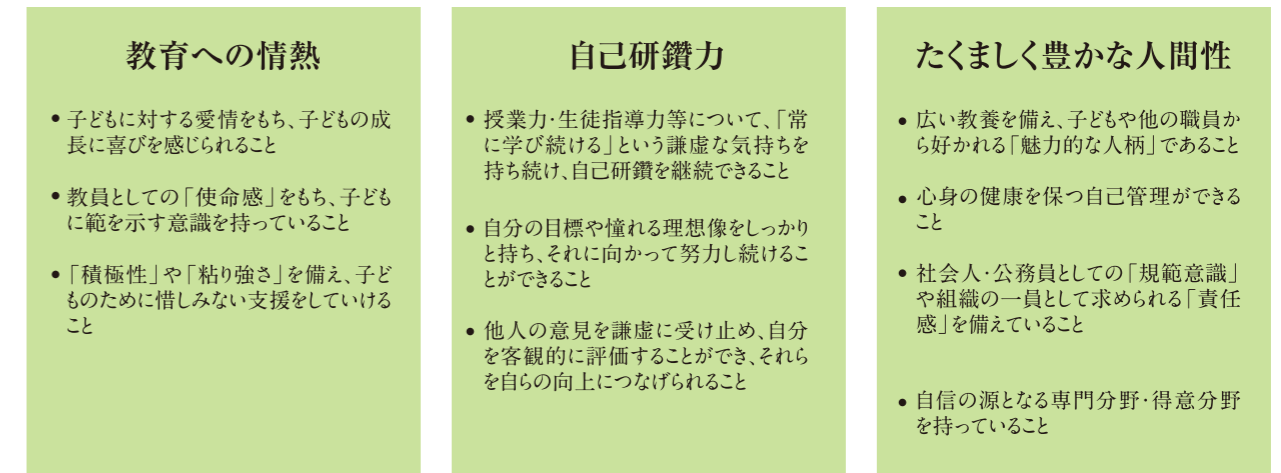
* 所定の出願要件(平成26年度実施の場合)
平成26年度実施の一般選考の「出願資格」に加え、身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者で、かつ自力による通勤及び職務遂行が可能者。選考内容は、原則として一般選考と同様に行うが、障害の種類や程度に応じて、実技試験の一部免除等を行う。



みやぎの教員に求められる資質・能力

みやぎの教員に求められる資質や能力は、教員個人による自己研鑽と職場での各種研修によって、より確かなものにする事が期待されています。

実践力の基盤となる意欲・人間性等



学校を支える力

- 校長、教頭や他の教職員と協力しながら、学びの場としての学校を組織的に支えられること
- 学校の教育目標を共有し、その実現に向けて自分の役割を果たせること
- 協調性をもち、教職員や保護者等と適切なコミュニケーションがとれること
- 校務を効率的にこなすとともに、常に改善を図っていること

学校の教育力を構成する実践力

